

シェアサイクルでハチタマ！（多摩 8 市）の観光地「つなごう」キャンペーン

市内にポートを設置している HELLO CYCLING では、令和 6 年度の取り組みとして、期間限定の施策として【シェアサイクルでハチタマ！（多摩 8 市）の観光地「つなごう」キャンペーン】を実施しました。

(1) 実施概要

HELLO CYCLING のシェアサイクルを使って多摩 8 市内の観光スポットを巡ることで、シェアサイクルの無料クーポンを配布。キャンペーン期間は令和 6 年 10 月 1 日～令和 6 年 11 月 30 日でキャンペーン期間中に対象の多摩 8 市内のステーションでシェアサイクルの利用を開始し、HELLO CYCLING アプリのマップ画面に表示された観光スポットにてチェックインボタンをタップすることで、自転車レンタルで利用できる 130 円クーポンを配布。前年度のキャンペーンにおいては、市をまたいでの利用がクーポン配布の要件となっていました。今年度においては市内の移動でもクーポンの対象となりました。

本キャンペーンは、シェアサイクル観光連携推進事業として 3 箇年の計画で令和 4 年度より開始され、初年度は福生市、立川市の 2 市から始まり、2 年目は小平市、日野市、国分寺市、国立市、武蔵村山市を加えた 7 市、3 年目は東大和市が加わり 8 市で実施されました。

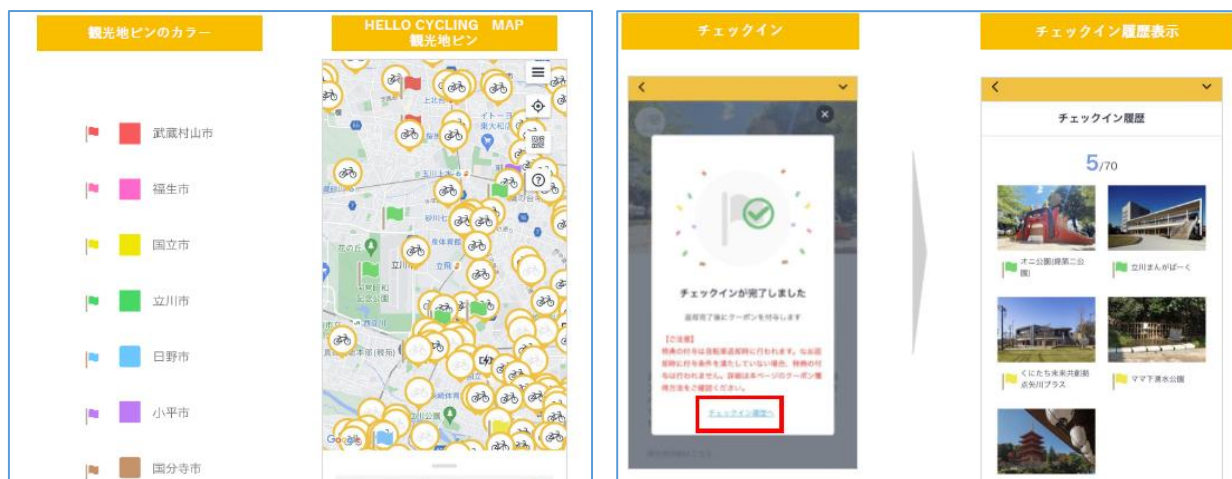
(2) 国立市の観光地チェックポイント

多摩 8 市内の観光地チェックポイント総数 80 カ所の内、国立市では下記の 10 カ所が観光地チェックポイントに設定されました。

① く に たち 未 来 共 創 拠 点 矢 川 プ ラ ス	国立市富士見台 4-17-65
② 城山さとのいえ	国立市泉 5-21-20
③ く に たち 郷 土 文 化 館	国立市谷保 6231
④ く に たち 市 民 芸 術 小 ホール	国立市富士見台 2-48-1
⑤ 大学通り（く に たち アート ビエンナーレ）	国立市東 2-25-7
⑥ く に たち 野 菜 と 地 域 食 材 の 店 「とれたの」	国立市富士見台 1-7 UR 団地内
⑦ ママ下湧水公園	国立市矢川 3-12
⑧ 谷保天満宮	国立市谷保 5209
⑨ 鳩の湯	国立市東 2-8-19
⑩ 国立温泉 湯楽の里	国立市泉 3-29-11

◆アプリ操作イメージ

観光地チェックポイントはマップ上でフラグが表示され、自治体ごとに色が異なります。チェックインした観光地チェックポイントについては履歴画面から確認することが可能となっており、チェックインは1カ所/人/回のみ可能となっています。



(3) キャンペーン実績 (OpenStreet 株式会社より情報提供)

◆参加自治体ごとの実績 (※クーポン付与条件達成)

チェックイン市	チェックイン回数 (R6)	チェックイン回数 (R5)
立川市	867	473
小平市	649	264
日野市	492	224
国分寺市	758	408
国立市	821	428
福生市	526	187
武蔵村山市	376	173
東大和市	378	
合計	4,867	2,157

前年度同様、チェックイン回数は立川市に次ぐ2番目の実績となりました。各自治体で前年を大幅に上回る実績となっており、立川市・国立市においては、キャンペーン期間中(10月～11月)シェアサイクルの利用回数が増加しました。

9月 9,516回⇒10月 9,601回⇒11月 9,751回⇒12月 9,398回

◆市内各観光スポットにおけるチェックイン回数

チェックインスポット	回数 R6 年度	回数 R5 年度	前年比 回数
大学通り（くにたちアートビエンナーレ）	88	63	+25
鳩の湯	95	63	+32
くにたち野菜と地域食材の店「とれたの」	96	52	+44
くにたち未来共創拠点矢川プラス	93	46	+47
ママ下湧き水公園	75	45	+30
くにたち市民芸術小ホール	86	44	+42
谷保天満宮	95	39	+56
国立温泉 湯楽の里	68	27	+41
城山さとのいえ	68	25	+43
くにたち郷土文化館	57	24	+33
合計	821	428	+393

多摩 8 市で最もチェックインが多い観光地チェックポイントで 79 回、大学通り（くにたちアートビエンナーレ）と鳩の湯については、多摩 8 市の全観光地チェックポイントの中で 5 位と高い実績となりました。他市を出発し国立市内観光チェックポイントのチェックインしている内容としては、国分寺市が最も多く、次いで立川市、日野市という結果になりました。

（4）アンケート調査

OpenStreet 株式会社では、令和 6 年度ハチタマキャンペーンの参加ユーザーに対し、シェアサイクル（HELLO CYCLING）の利用状況についてアンケートを実施しました。調査結果の一部（サービスの利用状況等）について、以下のとおり報告します。

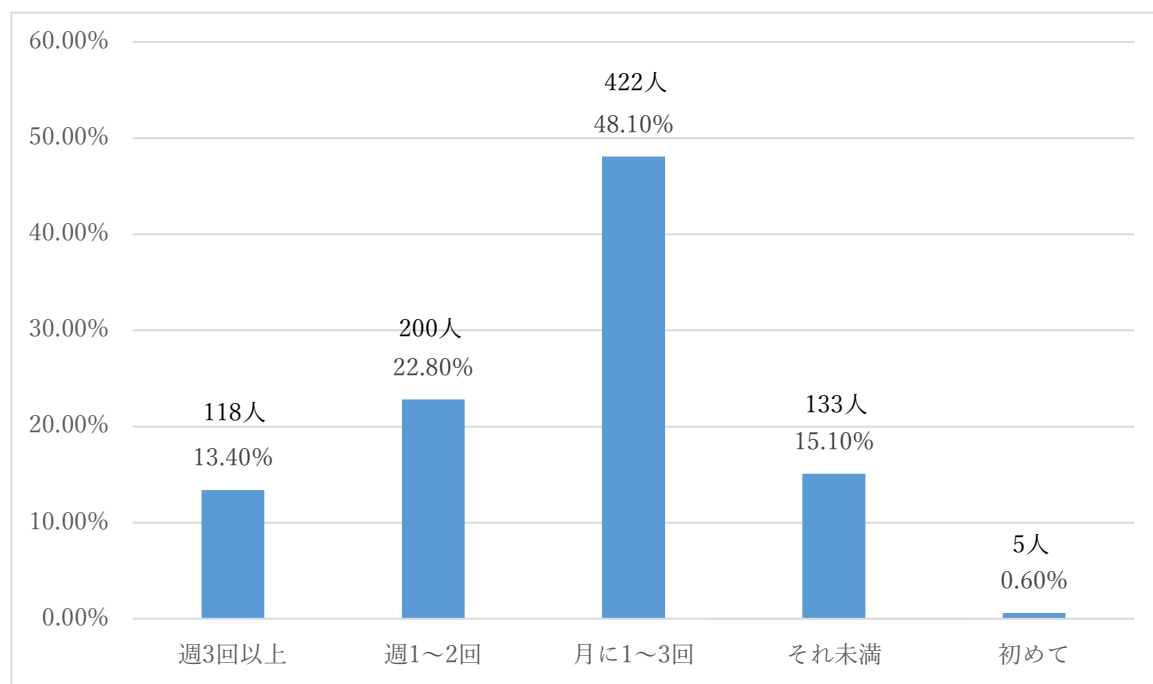
アンケート概要

対象者：27,462 名

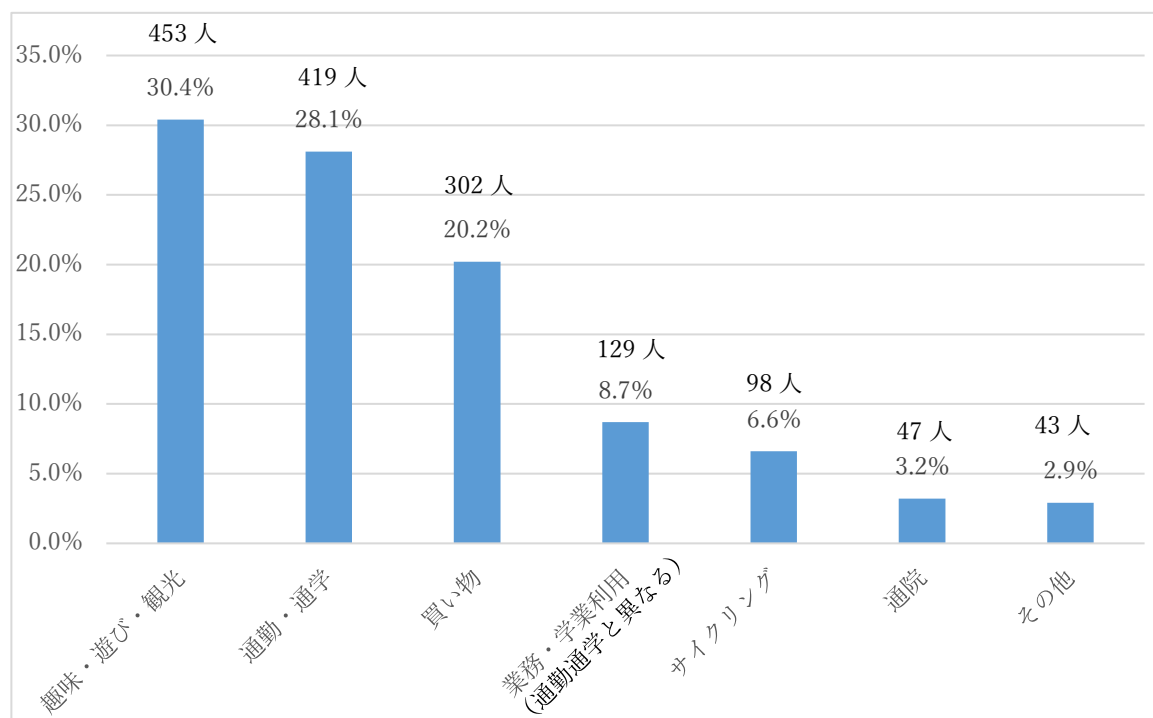
回答者：878 名

回答期間：令和 6 年 12 月 18 日～令和 7 年 1 月 6 日

問.シェアサイクルの利用頻度（過去1年の平均）を教えてください。

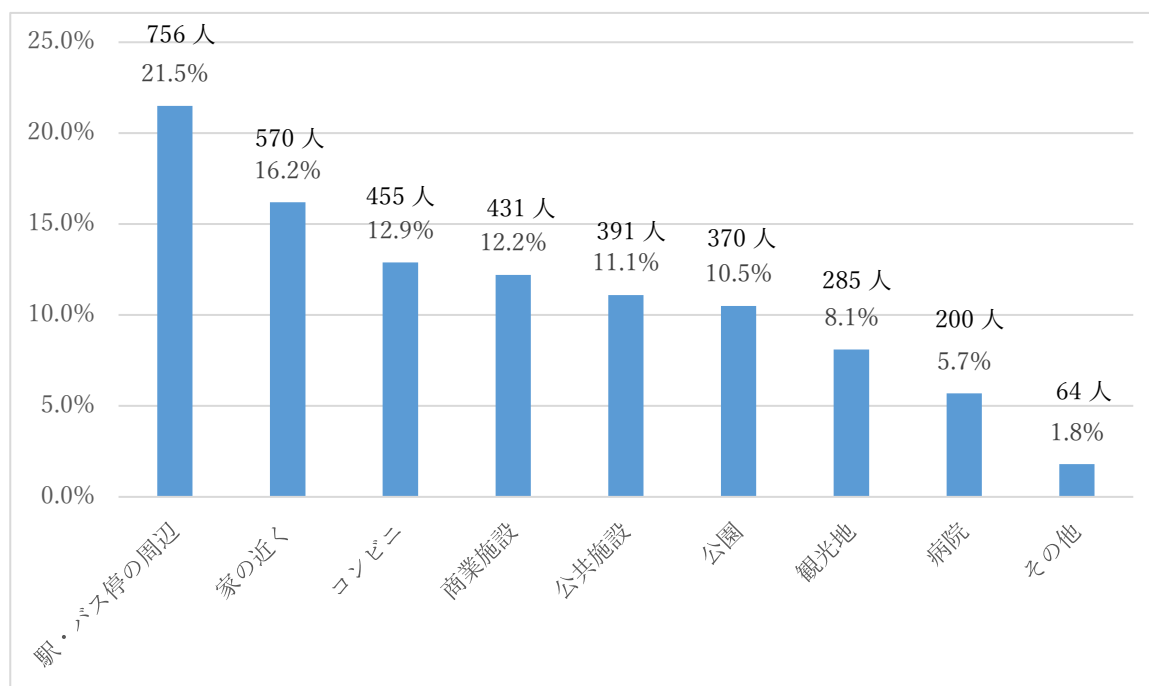


問.シェアサイクルの利用用途を教えてください。（複数回答可）



利用頻度としては月に1～3回が最も多い結果となっており、利用用途としては趣味・遊び・観光が最も多い結果となりました。シェアサイクルは通勤・通学を目的とした利用が多いイメージでしたが、幅広い用途が存在することから、駅周辺や公共施設のみならず、様々な環境に整備を進めることで、利便性の向上や自転車利用の促進が期待できます。

問.サイクルポートがあると便利だと思う場所を教えてください。(複数回答可)



「駅・バス停の周辺」に増やしてほしいという意見が最も多い結果でした。自転車で次に利用する交通機関のそばまで行けることは、効率的な移動に繋がります。東京都城南地域、川崎市、横浜市を中心に路線バスを展開する東急バスもその点に注目し、HELLO CYCLINGのステーションを停留所や営業所に展開し、バスとシェアサイクルが一元的に利用できる環境整備を進めています。

公園、公共施設といった各自治体が主にシェアサイクルの整備を行う環境に加え、病院といった国立市ではまだ展開のない意見も出ており、潜在的に幅広いニーズが存在することがわかります。